



所在地 妙高市諏訪町2丁目4番8号

電話 72-4225 FAX 72-5477

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/>

1 学校の概要

- (1) 創 立 平成 3 年 4 月 1 日
- (2) 教職員 校長 村治隆夫 教頭 金子謙太郎
- 教諭 18 名 講師 3 名
- 養護教諭 1 名 栄養教諭 1 名
- 主査 1 名
- 教育補助員 1 名 図書司書 1 名
- 特別支援教育支援員 7 名 用務員 2 名

(3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合 計
第1学年	2	20	18	38
第2学年	2	23	19	42
第3学年	2	27	18	45
第4学年	2	36	24	60
第5学年	1	16	15	31
第6学年	2	26	24	50
特別支援	5	24	6	30
合 計	16	172	124	296

2 学校経営の基本構想

- (1) 人権教育、同和教育を柱にした教育活動の展開
- (2) 新学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の編成と実施
- (3) あいさつ、生活習慣の向上
- (4) 家庭や地域と力を合わせた学校づくり

3 教育目標

○「あかるく つよく かしこく」

4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標
- 心・自分や友達のよいところを見付け、伝える
- ・いじめや差別について考え、自分にできることをしようとする

体・規則的な生活リズムで生活する

- ・自ら進んで運動する

学・文章や資料から必要な情報を正しく読み取る

(2) 努力事項

- ・当事者意識を高める「なかまの時間」の計画的な実践
- ・掲示板での活動や取組の紹介
- ・あいさつ運動の実施 ・なかよし班活動の計画的な実施
- ・キラリ発見カード活用の見直し・「全校なかまタイム」の計画実施
- ・保護者と連携した健康週間の継続
- ・メディアに関する指導を全学年で実施・食育の実施
- ・基準となる目標を設定し、めあてをもたせた体育授業の実施
- ・運動の場の工夫と環境整備
- ・自分の考えを深めるための「伝え合い」を重視した授業づくり
- ・児童の振り返りを基にした授業改善
- ・Web 配信テスト等を活用した学習支援（４年生以上）
- ・基礎的な読解力の育成 ・読書活動の充実、親子読書の推進
- ・ICT 活用 ・総合的な学習や各教科での SDGs の推進

5 研修計画

- (1) 研究主題
「『自分もみんなも 明るく うれしく よかったね』
を具現する子どもの育成」
～当事者意識を育む同和教育関連授業の充実と、
日々の教育実践の積み重ねを通して～

(2) 主題設定の理由

当校は、「自分もみんなも 明るく うれしく
よかったね」の合言葉のもと、人権教育、同和教育
を柱にした学校づくりを進めている。互いのよさや
違いを認め、思いやりの心をもってかかわる子ども
の育成を目指し、同和教育の5つの柱～「就学保障」
「学力保障」「進路保障」「人権、同和問題」「生
き方学習」～を窓口にして、教育活動を進めている。
合言葉の具現化のためには、当事者意識を育む授業
の充実と、同和教育の5つの柱に基づく日々の取組
の充実が欠かせぬことから本研究主題を設定する。

(3) 研究内容

- ①当事者意識を育む同和教育関連授業の充実
 - ・当事者意識を高め、思いや決意を伝え合う子どもの育成を目指した授業実践
 - ・人権感覚を養うための職員研修の充実
- ②合言葉を具現する子どもの育成を目指した日々の教育実践
 - ・「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」と言える学級・学校づくり
 - ・自他のよさや違いを大切にしておかかわる「なかよし班活動」と「全校 SSE」
 - ・合言葉を具現化している姿の見取りと情報の共有

6 S D G s 推進計画

- ・人権教育、同和教育の教育計画の中に、「ジェンダー平等を実現しよう」「平和と公正をすべての人に」につながる教育活動を位置付ける。
- ・なかまの授業（人権教育、同和教育関連授業）で上記項目に係る授業研究を推進する。

7 主な行事の予定

- 4月：始業式、入学式、避難訓練
5月：なかよし遠足、地区別学習参観日
6月：さくらフェスティバル（地域を学ぶ会）
7月：5年自然教室、終業式
9月：始業式、学年別学習発表会（～1月）
10月：運動会、避難訓練、人権教育、同和教育を学ぶ会
11月：個別懇談
12月：絵画・版画作品展、終業式
1月：始業式、避難訓練
2月：地区別学習参観日、マーチング移杖式
3月：6年生を送る会、終業式、卒業式